会報
全国国公立幼稚園・こども園長会

主な内容

会長挨拶
令和八年度活動方針
令和八年度組織表
大会宣言



# 国公幼だからできること

全国国公立幼稚園・こども園長会
会長　森山　未来



去る六月十二日、十三日に、第七十七回全国国公立幼稚園・こども園長会総会・研究大会（岩手大会）が開催されました。午前中の常任理事会・理事会において、また午後の総会において、議案及び新役員についてご審議、ご承認をいただき、令和八年度の活動が正式に始まりました。ご多用の中、理事の皆様にはご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。また、これまで国公幼の活動を各地域で支え、ご尽力をいただきました、ご勇退の常任理事、理事の皆様に、この場を借りまして厚く御礼を申し上げます。

この度、高橋慶子会長の後を受けて会長に就任いたしました。国公幼の会長という職責の重さに、身の引き締まる思いがいたします。現場に必要な情報の発信、各地域における課題把握、課題解決に向けた活動に、本部役員一同、誠心誠意取り組んでまいる所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

**国公幼の強みを生かした取り組みを**

国公幼では、年二回の全国大会を開催し、会員同士の交流を深めるとともに、提言発表と協議を通じて会員相互の資質向上を図る機会としております。六月の岩手大会では、三園の提言発表から多くのことを学び合うことができました。また、先日行われた愛知大会においても、全国から多くの方々にご参加いただき、研究発表を基に熱心な協議が進められ学びを深める時となりました。今、次期学習指導要領の改訂に向けて検討が進められる中、幼稚園教育要領等についても、幼児教育WG・保育専門委員会の取りまとめ（案）が公表されたところです。国の施策を確実に遂行するために必要となるのは、現場で実際に生きて働く教育実践です。これまで、国公幼の各園では、幼稚園教育要領等に則ったスタンダードな教育が真摯に積み重ねられてまいりました。質の高い教育実践を次代へとつないでいくことが、国公幼に与えられた使命であり役割であると確信しております。全国の会員の皆様と共に、私たちの強みを生かして更に研鑽を深め、会員相互の資質向上に努めてまいりましょう。

**子どもの未来を育む両輪として**

全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会（以下、全幼P）の全国大会が、八月二日に東京で開催されます。これまで、全国大会は各地で開催されてきましたが、今年度より東京での固定開催となります。全国的に園数が減少する中、全幼Pに加入する園数も減少し、様々な運営の工夫が必要となっております。私たち国公幼にとって全幼Pは、保護者の立場から現場に必要なことを関係機関に届けてくださる車の両輪であり、各園の保護者の思いをつなぐハブとなる重要な存在です。私たち国公幼の園長が、全幼Pと一層の連携を深め、その活動を支援していきたいと思います。